

URC都市セミナー

福岡の成長戦略

国際競争力強化に向けたFukuoka D.C.の取り組み

2014.12.15

後藤 太一

福岡地域戦略推進協議会(Fukuoka D.C.) 事務局長
goto@fukuoka-dc.jpn.com

PHOTO : Fumio Hashimoto

写真提供 : 福岡市

福岡の挑戦

Fukuoka D.C. (FDC)とは

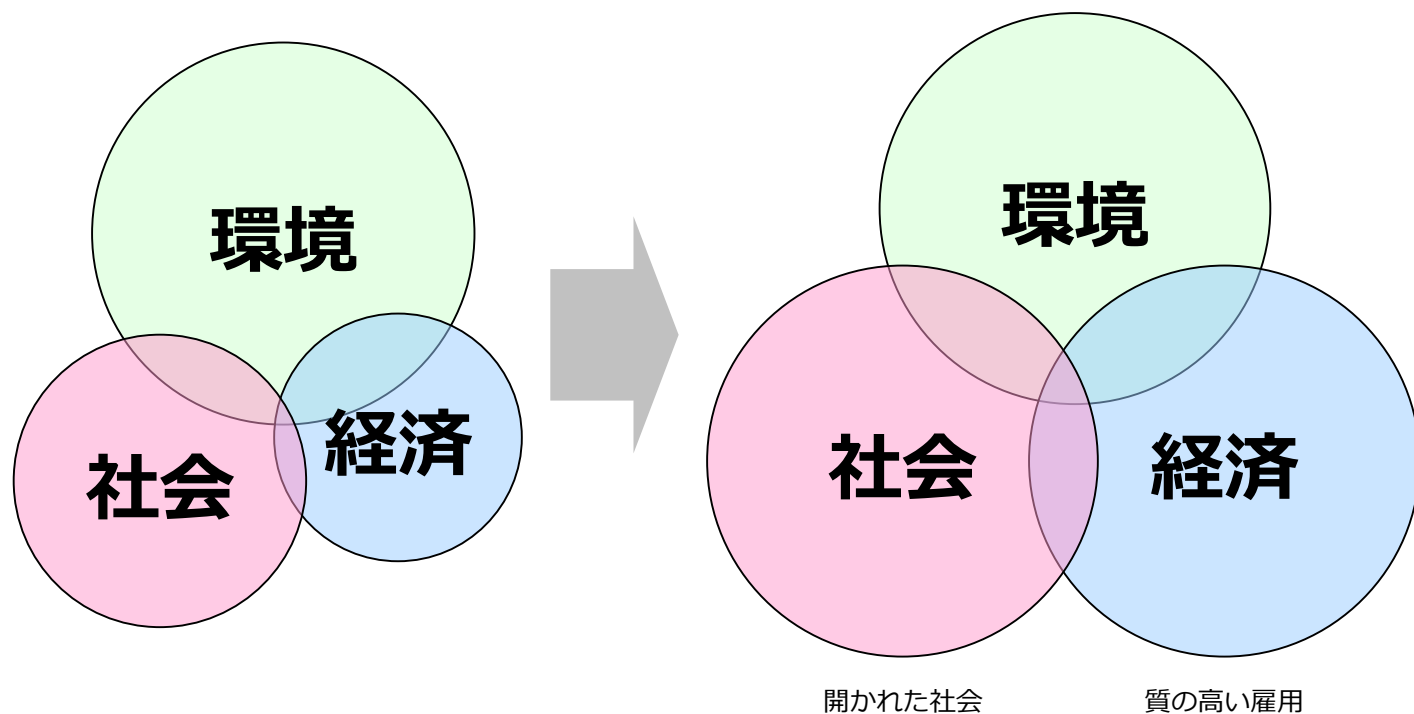
FDCの成長戦略

プロジェクトの推進

国家戦略特区を考える

福岡の挑戦 – 「住みやすい」から「持続可能」へ

質の高い雇用が創出され、人材と投資が流れ込む地域に



住みやすさでは一定以上の評価を獲得

■暮らしの質

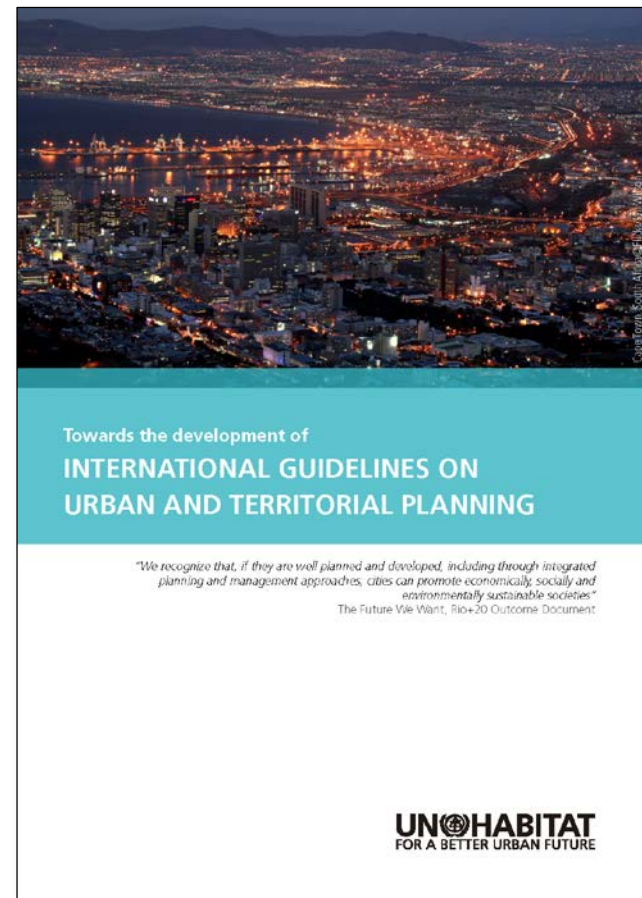
世界10位 Monocle (U.K.) 2014



■まちづくり

世界38のモデル地域に選定

■ うち国内は仙台と福岡のみ

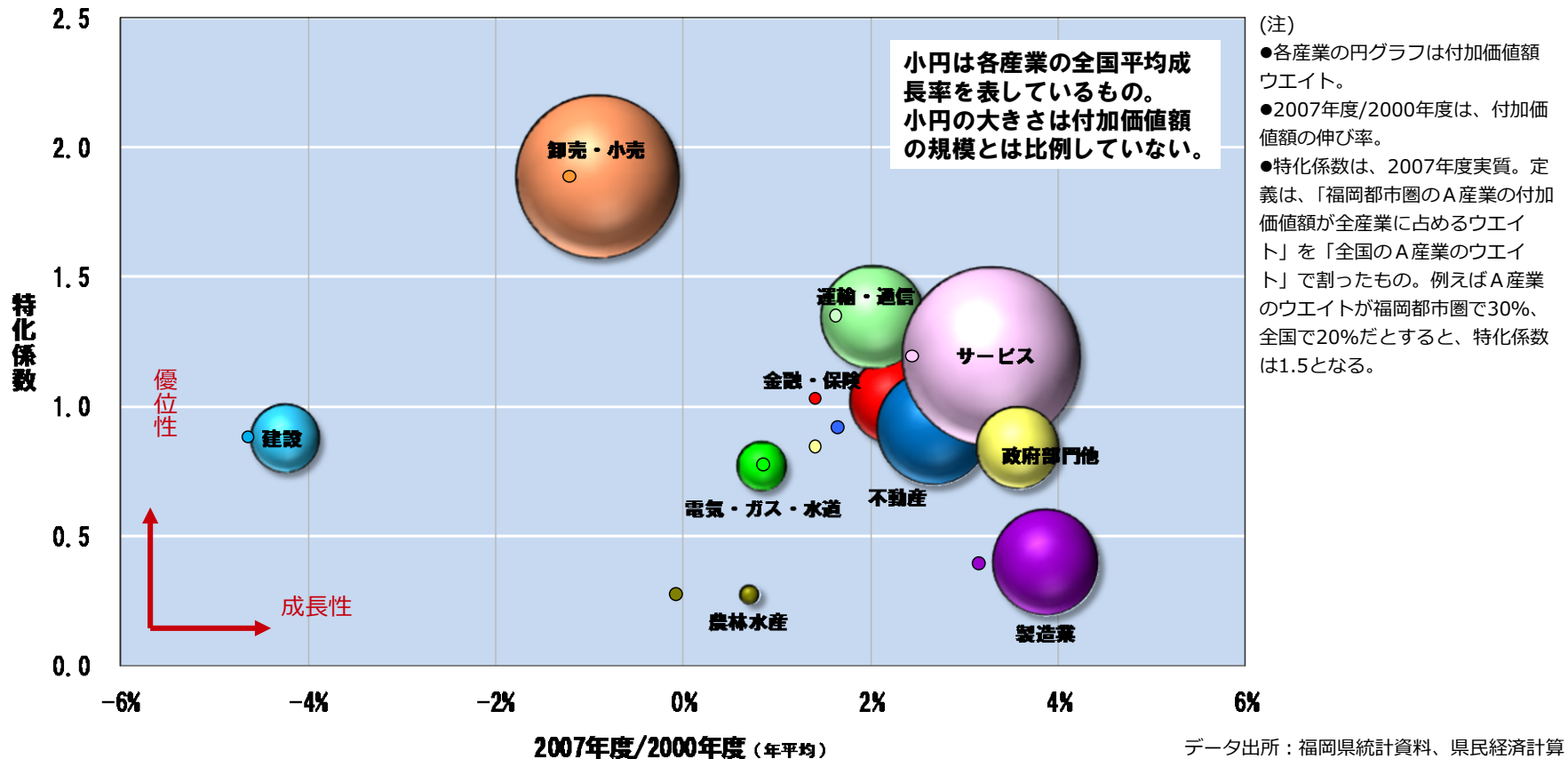


現状を踏まえて、どの産業を伸ばそうとするのか？

国内優位性が高いのは卸売・小売、運輸・通信、サービス。

国内優位性が低いのは農林水産と製造業。

成長率が高いのは製造業、政府部門、サービス、不動産など。



福岡都市圏の産業別特化係数と成長率

福岡の挑戦

Fukuoka D.C. (FDC)とは

FDCの成長戦略

プロジェクトの推進

国家戦略特区を考える

Fukuoka D.C. (福岡地域戦略推進協議会) とは

■ 福岡都市圏の成長戦略を策定から推進まで一貫して行うシンク&ドゥタンク

達成すべきこと

- 国際競争力の強化による福岡都市圏の持続的な成長
 - 域内総生産 = 営業利益 + 人件費 + 減価償却費 + 賃借料 + 租税公課 + 特許使用料

2011年4月設立

民官の資金・人材拠出 (2013年度予算)

- 企業 約5千万円 + 出向者3名
- 自治体 約5千万円
- その他 約3千万円

93の会員 (2014年10月30日現在)

- 正会員 67
- 特別会員 6
- 賛助会員 20
 - 世界的な英知を結集する実務専門家集団



民間活力の投入と 公共政策の担保が連動している

- 戦略の主要素が、福岡市マスタープランに位置づけられている。

福岡市マスタープラン

都市経営の基本戦略

- ① 「生活の質の向上」と「都市の成長」の好循環を創り出す

地域

人材

MICE
都心

スタート
アップ

- ② 福岡都市圏全体として発展し、広域的な役割を担う

 *Fukuoka D.C.*

福岡都市圏の成長戦略

8つの重点産業分野
×
8つのビジネス基盤

人材

MICE

都心

市民の英知 x 海外との連携

■ 産学官の連携を越えて、新しい価値の創造に挑戦



福岡の挑戦

Fukuoka D.C. (FDC)とは

FDCの成長戦略

プロジェクトの推進

国家戦略特区を考える

徹底した地域診断を踏まえて共有した情勢認識

■ 現実を冷徹に認識しつつ、攻めの姿勢で実現性のある戦略を検討した

		機会	脅威
		<ul style="list-style-type: none"> ■ アジアの成長 ■ 九州の統合深化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 人口減少 ■ 東日本大震災 ■ 世界経済危機 ■ 日本の国際競争力低下
強 み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東アジアの中心という戦略的な位置 ■ 高い暮らしの質 ■ 九州における中枢性 	アジアの成長と共にビジネス拠点として成長	多様な人材にとって住みやすく働きやすい環境づくり
弱 み	<ul style="list-style-type: none"> ■ 低い社会的多様性 ■ 断片化したリーダーシップ 	産学官民パートナーシップによるスピードと責任ある推進	内需型産業の革新による雇用基盤の維持

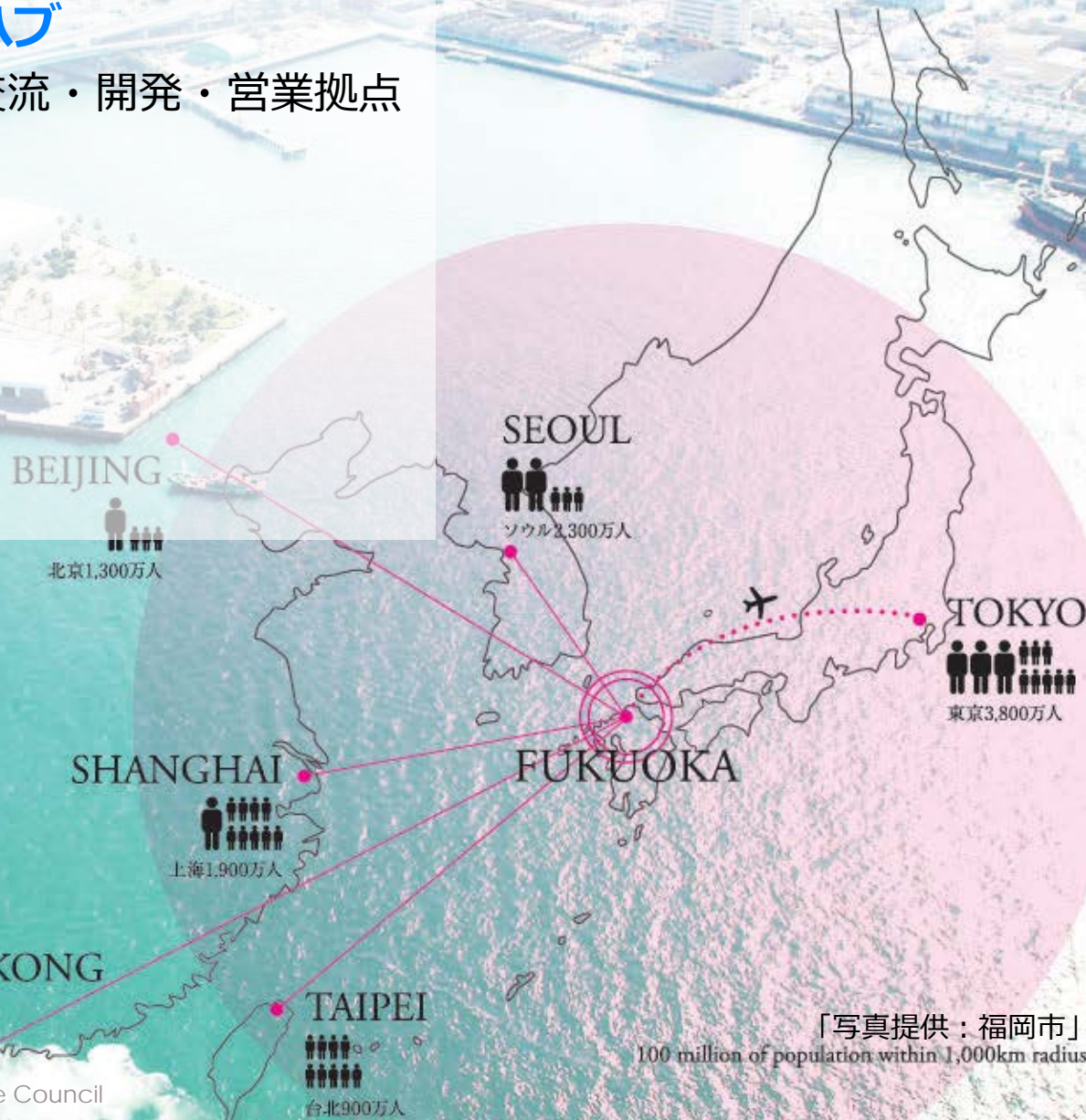
将来像の設定

東アジアのビジネスハブ

日中台韓のビジネス交流・開発・営業拠点

■ 持続可能な地域

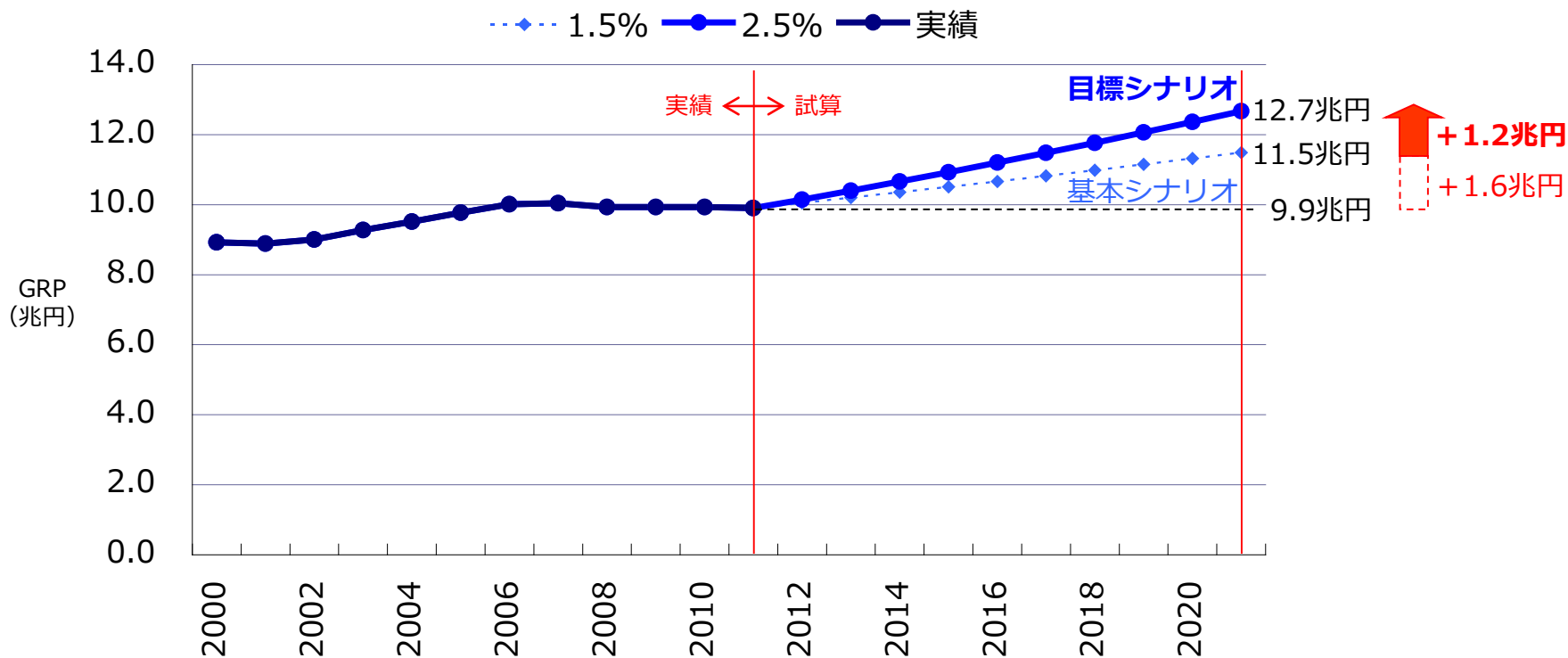
- 経済
- 人材
- 移動
- 生活
- 環境
- 地域経営



目標の数値化

10年間での達成目標

域内総生産 (GRP)	+2.8兆円 (年平均成長率+2.5%)
雇用	+6万人 (年平均成長率+0.5%)
人口	+7万人 (年平均成長率+0.3%)



戦略の策定

交流の活性化により 質を重視した成長をはかる



域外に向けて挑戦する
環境をつくる

- アジア市場は引続き成長
- 時間距離短縮で経済圏は超広域化



人材の多様性を
強化する

- 生産年齢人口の減少



革新的・創造的な
交流の場をつくる

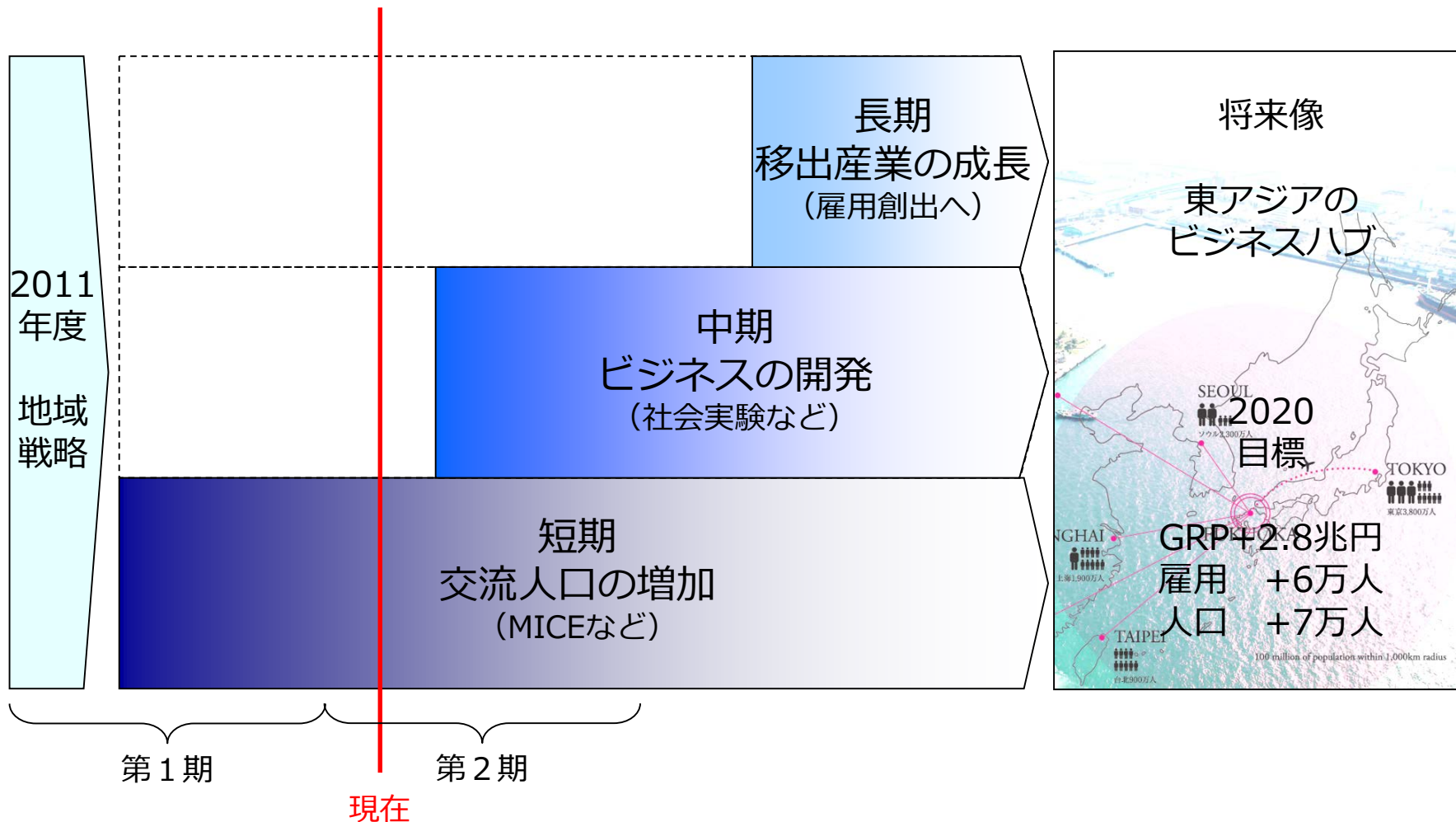
- 支店数の減少
- 後背地である九州の市場は縮小

(注) 域外（市場の需要を獲得する対象エリアとしては、九州域外を指す）

「写真提供：福岡市」

工程の組み立て

段階的に取組みを拡充



福岡の挑戦

Fukuoka D.C. (FDC)とは

FDCの成長戦略

プロジェクトの推進

国家戦略特区を考える

16の戦略テーマを踏まえ、5つの部会で事業を推進

■ MICEを軸に、相互に連携する様々な事業を推進



観光 国際的ビジネスイベントが盛んな地域へ

MICEビューロー「Meeting Place Fukuoka」の設立 (2014年4月)

MICEの誘致受入・企画を行う国内初の官民連携ワンストップ組織

産学官民協働でMICEビューローを実現

2014年4月、福岡で全国初のMICEビューローが始動する。その実現を担った福岡地域戦略推進協議会 (<http://www.fukuoka-dc.jp.com>) と観光部会の活動をレポートする。



産官学民の会員が集う観光部会

(MICE Japan, April 2014)



(Photo: FCVB)

スマートシティ 人々がICTを使いこなす地域へ

■スマートモビリティ

人流・交通流を「見える化」する、人流・交通流分析センターの構築（F/S）



都市の活性化の実現

公共交通の利用拡大
交通ネットワークの充実

交通（旅客、貨物）事業者



集客力の向上
街区価値の向上

流通・外食、都市・不動産、
観光・レジャー事業者



食 魅力的な食が人と投資を惹きつける地域へ

フード・エキスポ in 九州

海外70国内52のバイヤーと九州の食産業従事者143団体の商談（国内最大級）



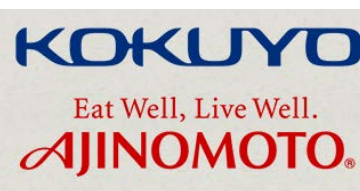
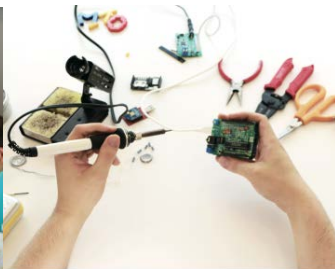
九州の大地で育まれた自慢の「食」が大集合。
九州の食の未来、体感しませんか
Food EXPO Kyushu
~from Fukuoka to the Global Market~



人材 市民と共に新たな価値を生み続ける地域へ

■イノベーション・スタジオ

多様な市民と企業の協働により、新しいビジネスを生み出すプログラム



イノベーション・スタジオのKPI

■事業組成へのコミットメント

Fukuoka D.C. 地域戦略

(2010年→2020年)

東アジアのビジネスハブ
として、多様な人が集い
繁栄し続ける地域

GRP +2.8兆円
雇用 +6万人
人口 +7万人

福岡市 国家戦略特区

(2012年度→2018年度)

世界一チャレンジしやすく、
新たな価値を生み続ける都市 (仮)

開業率 6.2 → 13.0%
新規雇用 15 → 20万人/年

イノベーション スタジオ福岡

(2014年度→2016年度)

新しいビジネスや
プロジェクトを生み出す
プラットフォーム

新規事業 5件
域内直接投資 1億円

都市 世界から人を惹きつける都心のある地域へ

都心再生戦略

イノベーション経済のエンジンとなる都心を段階的につくる行動を開始する



成果1/3 協働の基盤を発展させてきた

■ 会員の増加

主に、域外企業が増加

■ 36→93 (設立時→10月30日現在)

■ うち、正会員23→67 / 特別会員6→6 / 賛助会員7→20

■ 市民理解の促進

フォーラムなど

メディア発信

■ 新聞、テレビ、雑誌、web、Facebookなど

■ 政府からの評価

内閣府経済財政諮問会議「地域経済再生の司令塔」

■ グローバル・スタートアップ国家戦略特区 (福岡市と共同提案)

■ グローバルMICE戦略都市 (福岡市)

■ その他、各省庁との連携

成果2/3 域外へのワンストップ窓口を確立してきた

■ 日本政府

- 内閣官房、内閣府、総務省、財務省、経済産業省、国土交通省

■ 外国の政府・自治体・国際機関など

- フランス
- デンマーク
- スペイン
- シンガポール
- オランダ
- オーストラリア
- スウェーデン

国際地域ベンチマーク協議会（IRBC）

国際社会実験（Citymart / LLGA）

国連ハビタット、世界銀行、日本国際協力センター（JICE）

■ 対内投資受入支援

デベロッパー、ファンド、銀行、企業R&D部門など

■ 域外企業へのビジネス開発支援

イノベーション・スタジオへの参画

複数の企業からの打診

成果3/3 事業体の目論見を検討してきた

■ 地域戦略の策定

■ 部会の設置・運営

■ 政策への反映

福岡市

- 基本計画
- 観光戦略
- 都市計画マスタープラン／都市交通基本計画（意見募集中）

国家戦略特区（福岡市と共同提案済） 3/28選定

■ 規制緩和

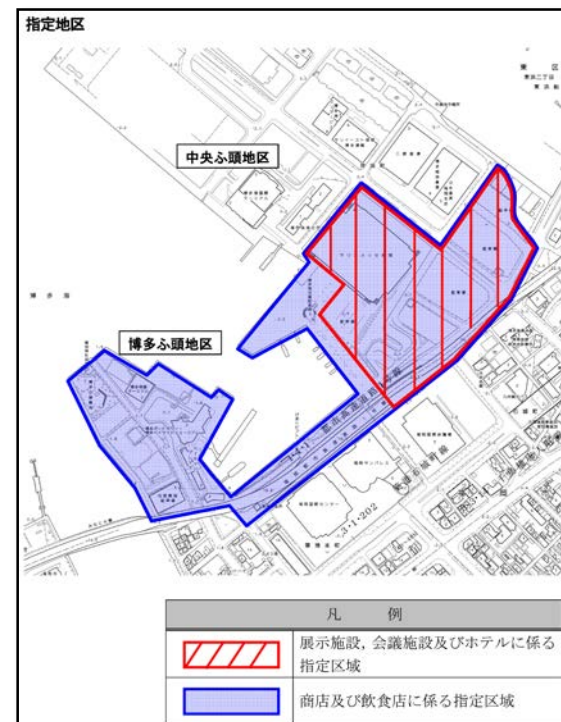
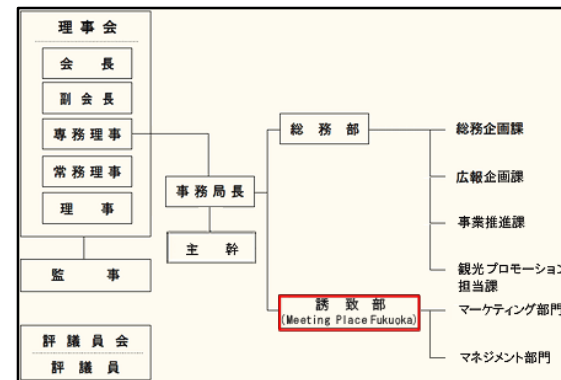
構築物の用途制限の緩和（臨港地区条例改正）

■ 事業体の目論見

Meeting Place Fukuoka（MICEビューロー）

ウォーターフロント・エリアマネジメント（PPP F/S）

第二期展示場および周辺整備（福岡市）



今後の課題

■ 第2期（2014年度～2016年度）事業方針

実行「ドウ」に焦点を移し、設立趣意と地域戦略を引続き推進し、世界に選ばれる福岡の価値をつくる

■ 事業化

- 目論見に基づき事業体を組成し、事業を軌道に乗せる支援を行う。
- 有志のメンバーがプロジェクトの事業性検討を実施する「コンソーシアム」の組成・活動を支援する。

■ 広域化

- 福岡都市圏の自治体の参画を促す。
- 九州全体に成果を波及させていくための関係者連携の強化を図る。

■ 法人化

- 事業推進力の強化に資する法人化について継続検討する。

プラットフォームの一般社団法人化

金融機能を備えた事業支援会社の組成など

福岡の挑戦

Fukuoka D.C. (FDC)とは

FDCの成長戦略

プロジェクトの推進

国家戦略特区を考える

国家戦略特区 — 国際的な経済活動の拠点の形成



福岡市グローバル創業・雇用創出特区の全体像

福岡市の特区の区域方針 (H26.5.1内閣総理大臣決定)

- **創業**等の支援による**開業率の向上**
- **MICE** (前頁欄外注) の誘致等を通じた**イノベーションの推進**及び**新たなビジネス等の創出**

特区の主な規制改革等の取組み (H26.6月～)

※このほかにも関連する規制改革等の取組みや新たな規制改革等の提案を多数検討中

【H26.9月区域計画認定/11月設置】
雇用条件の明確化のための
雇用労働相談センターの設置

【H27通常国会に法案提出予定】
外国人創業人材等の受入促進

【H27通常国会に法案提出予定】
法人設立手続の簡素化・迅速化

【H27年度内閣府税制改正要望にて要望中】
スタートアップ法人減税

**創業を
促進する**

**創業環境
を整える**

特区で認められた
規制改革・税制等

【H26.9月区域計画認定/11月～実施】
MICEイベントの賑わい創出のための
道路占用基準の緩和

【H26.11月決定】
魅力的なビジネス街区の形成を促す
**航空法高さ制限の
エリア単位での特例承認**

スタートアップカフェ

スタートアップ奨学金

チャレンジマインド教育
etc.

市の施策

+

国の施策

等

産業競争力強化法に基づく支援

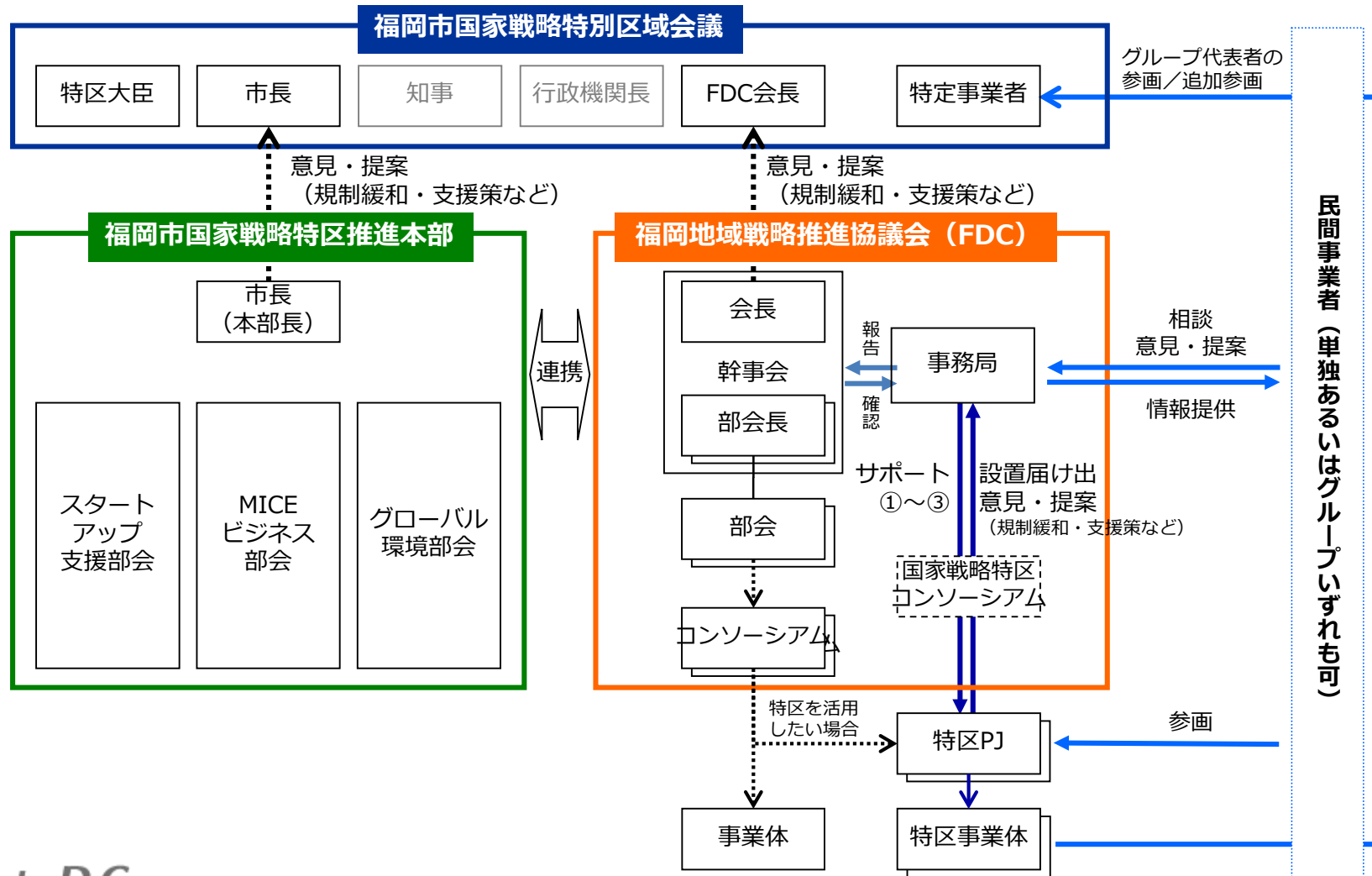
その他成長戦略に基づく支援

etc.

これらを組み合わせた**政策パッケージ**で推進！

国家戦略特区の推進

■ 事業の発掘、および規制緩和及び支援策に関する意見提出





プロジェクトから生態系へ



世界に選ばれる福岡の価値をつくる

■ 成長株企業のビジネス開発を支援する4つの価値を提供していく

